

流しびなに思いをのせて

木野両国橋下流ほか

春を告げる風物詩「ひな流し」が小瀬川流域の4カ所で行われ、子どもたちやその保護者など約1,000人が集まった。子どもたちは手作りした流しびなをそっと流し、手を合わせて願いを込めた。



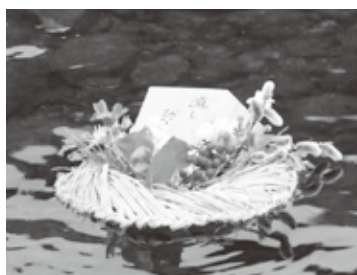
(上) 思い思いに流しびなを作る。
(右) きれいな円になるよう丁寧に棧さんざい俵を編んでいく。



(上) (右) 自分だけの流しびな。春の色鮮やかな花がたくさん飾られている。



(上) ゆるやかに流れる川面に流しびなをそっと流す。
(右) 手を合わせて流しびなに願いを託す。



子どもたちの願いを載せてゆらりゆらりと川をくだる流しびな。